

創立記念式典

皆さんこんにちは高校生徒会です。

5月11日は宇都宮東高等学校 59 回目、同附属中学校 15 回目の「創立記念日」でした。

これを記念し総合文化センターで創立記念式典、記念講演会、芸術鑑賞会が行われました。

まず、創立記念式典で校長先生と同窓会長のお二方から東高の歴史についてお話をいただきました。北校舎の屋上にある天体観測所や昔あった図書館など自分たち生徒も知らないことばかりで興味深かったです。また今年も昨年同様、校歌は歌わずに流すのみとなりました。

入学して一度も校歌を歌ったことがない生徒もいるので、いつか生徒全員で校歌を歌える時が来ることを願っています。



続いて、記念講演会が行われました。今年度は、本校第 37 期生であり第 63 回次南極地域観測隊に同行された宇都宮大学共同教育学部附属小学校勤務の渡邊 雅浩先輩にお越しいただき、南極に熱中する人というテーマで実際に南極に言った感想やそこでの体験などの講義をしていただきました。今回の講義を要約させていただくと

南極には、地球の原生の自然が人間の手つかずで残されています。そんな南極を調査し、研究することは、地球の今、生命の謎、さらには宇宙を解き明かすことにつながります。また、地球の過去を知り、今を知ること、これから起こる未来を予想し、環境問題やこれからの地球を考える「未来」につなげることができます。しかし、研究者だけでは、南極での研究は成り立ちません。観測、研究に携わる観測部門と建築、機械、電機に携わる設営部門この二つが助け合って昭和基地を運営しているのです。

学問はただ1本の道ではありません。昭和基地のようにほかの学問と絡み合ってより高みを目指していきます。私たちには、広い視野を持って、いろいろなものを見て「熱中するものを見つけてほしい」とおっしゃっていました。

普段の学校生活で様々なことを学ぶ中で、興味のあることを見つけ積極的に挑戦していき、友達と助け合って自分の未来をつなげていきたいと思いました。



最後に、芸術鑑賞会が行われました。今年度は 2013 年に結成された「The Rev Saxophone Quartet」の皆さんにお越しいただき、サックスという楽器の奥深さを音で教えてくださいました。楽器や演奏方法の説明をしていただき、クラシックやロックなどを生で演奏していただくことでサックス＝ジャズというイメージが大きく変わりました。

また Quartet の 4 人は高校時代に顔を合わせており、大学で再会し今のグループを結成されたとのことで、ステージ上での皆さんの絆を見て、今学校で話している友が永遠の友となると思うと学校生活を大切に過ごしたいと感じたりもしました。



今回の式典に関わった皆様、ありがとうございました。

来年度は第 60 回の創立記念式典です。誰の講演を聞くことができるのか楽しみです。